

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所 (お問い合わせ先)	〒530-0004 大阪市北区堂島浜一丁目1番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
同 取 次 所	☎ (通話料無料) 0120-094-777 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国本支店 (下記ご 注意ご参照) 【株式に関するお手续用紙のご請求について】 株式に関するお手续用紙 (届出住所等の変更届、 配当金振込指定書、単元未満株式買取請求書等) のご請求につきましては、以下のお電話およびイ ンターネットにより24時間受け付けておりますの で、ご利用ください。なお、株券電子化実施後は、 特別口座に登録された株式についてのお手续用紙 のみとなりますので、ご注意ください。 ☎ (通話料無料) 0120-244-479 (証券代行部) 0120-684-479 (大阪証券代行部) インターネットアドレス http://www.tr.mufg.jp/daikou/ 大阪証券取引所市場第二部 (証券コード4462) 電子公告により行います。 なお、電子公告は、当社のホームページに掲載し ており、そのアドレスは次のとおりです。 http://www.unicon.co.jp/
上場証券取引所 公告方法	

(ご注意) 株主名簿管理人の「取次所」の定めについて

株券電子化後、株主様の各種お手続きは、原則として口座を開設されている証券会社経由で行っていただくこととなるため、株主名簿管理人の「取次所」は、株券電子化の実施時をもって廃止いたします。

なお、未受領の配当金のお支払いにつきましては、引き続き株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行の全国本支店でお支払いいたします。

インターネットホームページアドレス
<http://www.unicon.co.jp/>



第71期

中間報告書

平成20年4月1日～平成20年9月30日

石原薬品株式会社

株主の皆さまへ



株主の皆さまには、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご厚情を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社は平成20年9月30日をもって、第71期の上半期を終了いたしましたので、ここにその事業の概況をご報告申し上げます。

今後とも株主の皆さまのご期待にお応えできますよう、業績の向上に全力を傾注する所存でございますので、なお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、なにとぞよろしくお願い申し上げます。

平成20年12月

代表取締役社長 **竹森莞爾**

事業の概況

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、資源高と海外経済の減速、輸出の鈍化、生産や設備投資の抑制、消費者心理の冷え込みなど国内景気の減速が鮮明になってまいりました。

このような状況下において、売上高7,924百万円（前年同期比2.7%減）、営業利益531百万円（前年同期比31.2%減）、経常利益584百万円（前年同期比26.8%減）、四半期純利益270百万円（前年同期比45.5%減）となりました。

電子関連分野が対応する電子部品業界は、携帯電話やパソコンなど最終製品需要の低迷が続き、北京オリンピックに伴う需要の盛り上がりも期待ほどでなく、また、クリスマス商戦に向けた夏場の部品受注も前期を下回る水準にとどまりました。このような状況下において、金属表面処理剤及び機器等は、液晶関係、パンプ関係のめっき液が伸びているものの半導体関係は、需給関係やBGAタイプの増加等により伸びが鈍化しており、売上高は、3,051百万円（前年同期比2.2%増）にとどまりました。一方、電子材料のニッケル超微粉は、需要先の大容量セラミックコンデンサーの需要動向等により伸び悩み、半導体製造装置向けの機能材料加工品の部品需要も低調に推移し電子材料の売上高は、1,581百万円（前年同期比17.6%減）となりました。

自動車用品分野は、自動車本体の品質向上等により自動車ケミカル品の使用量減少が続いておりカーアフターマーケットでの部品、用品販売は低調に推移しております。このような状況下においてカーメーカー向け自動車ケミカル品等の伸びもあり売上高は817百万円（前年同期比1.2%増）となりました。

工業薬品分野は、建設需要の低下に伴い鉄鋼向け関連商品が減少したものの鋼板向け表面処理剤、化学、環境向け薬剤等の伸びもあり売上高は、2,473百万円（前年同期比2.0%増）となりました。

当期の見通し

今後の経済見通しは、輸出不振、設備や雇用の過剰感の広がりなど内外需とも不振の様相が見られ、また金融危機はより深まっており先行きの不透明感は増しております。

このような状況の中、通期の業績の見通しにつきましては、金属表面処理剤を中心に原材料価格高騰の影響が出てきていること、為替について円高基調が続く計画レートとの乖離が出てきていることなどを修正し、販売費及び一般管理費の節減を織り込んだうえ、なお一層の販売努力を行っていく所存ではあります当初計画を下回る見込みであります。

貸借対照表

期別 科目	当第2四半期 会計期間末 (平成20年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)	期別 科目	当第2四半期 会計期間末 (平成20年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
	金額(千円)	金額(千円)		金額(千円)	金額(千円)
資産の部			負債の部		
流動資産			流動負債		
現金及び預金	2,898,517	2,637,353	支払手形及び買掛金	3,276,235	3,526,275
受取手形及び売掛金	4,560,011	4,460,824	1年内返済予定の長期借入金	32,750	57,250
有価証券	661,501	810,892	未払法人税等	164,645	233,421
商品及び製品	786,360	874,401	賞与引当金	142,879	137,926
仕掛品	59,959	60,882	役員賞与引当金	5,450	21,800
原材料及び貯蔵品	318,983	241,048	その他	178,736	177,240
その他	116,902	143,531	流動負債合計	3,800,696	4,153,914
貸倒引当金	△ 3,654	△ 3,576	固定負債		
流動資産合計	9,398,582	9,225,357	長期借入金	—	6,250
固定資産			退職給付引当金	94,290	95,921
有形固定資産			役員退職慰労引当金	174,527	163,107
建物	1,779,443	1,822,881	その他	62,994	46,016
その他	967,212	951,453	固定負債合計	331,812	311,295
有形固定資産合計	2,746,656	2,774,334	負債合計	4,132,509	4,465,209
無形固定資産	17,065	14,218	純資産の部		
投資その他の資産			株主資本		
投資有価証券	3,953,498	4,277,265	資本金	1,447,280	1,447,280
その他	1,196,716	1,194,032	資本剰余金	1,721,281	1,721,281
貸倒引当金	△ 3,303	△ 4,504	利益剰余金	10,207,210	10,070,435
投資その他の資産合計	5,146,911	5,466,793	自己株式	△ 43,628	△ 43,527
固定資産合計	7,910,633	8,255,346	株主資本合計	13,332,143	13,195,469
資産合計	17,309,215	17,480,703	評価・換算差額等		
			その他有価証券評価差額金	△ 155,436	△ 179,975
			評価・換算差額等合計	△ 155,436	△ 179,975
			純資産合計	13,176,706	13,015,493
			負債及び純資産合計	17,309,215	17,480,703

損益計算書

期別 科目	当第2四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	期別 科目	前第2四半期累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年9月30日)
	金額(千円)		金額(千円)
売上高	7,924,019	売上高	8,140,690
売上原価	5,862,015	売上原価	5,873,191
売上総利益	2,062,004	売上総利益	2,267,498
販売費及び一般管理費	1,530,019	販売費及び一般管理費	1,493,791
営業利益	531,984	営業利益	773,707
営業外収益		営業外収益	
受取利息	19,838	受取利息	18,166
受取配当金	13,116	その他	32,777
為替差益	13,706	営業外収益合計	50,944
その他	19,744	営業外費用	
営業外収益合計	66,406	支払利息	2,771
営業外費用		その他	24,150
支払利息	2,564	営業外費用合計	26,921
売上割引	1,402	経常利益	797,729
コミットメントフィー	9,115	特別利益	
その他	1,289	投資有価証券売却益	2,355
営業外費用合計	14,371	貸倒引当金戻入益	1,000
経常利益	584,019	特別利益合計	3,355
特別利益		特別損失	
貸倒引当金戻入益	1,200	固定資産売却損	106
特別利益合計	1,200	固定資産除却損	507
特別損失		電話加入権評価損	49
固定資産除却損	140	特別損失合計	663
減損損失	173	税引前四半期純利益	800,421
投資有価証券評価損	159,783	法人税等	304,612
特別損失合計	160,098	四半期純利益	495,808
税引前四半期純利益	425,121		
法人税等	154,790		
四半期純利益	270,330		

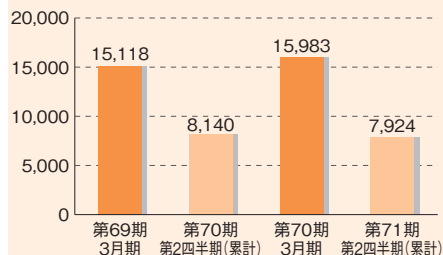
キャッシュ・フロー計算書

期別 科目	当第2四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	前第2四半期累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年9月30日)
	金額(千円)	金額(千円)
営業活動によるキャッシュ・フロー	116,261	435,538
投資活動によるキャッシュ・フロー	301,783	△ 323,396
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 164,982	△ 137,952
現金及び現金同等物に係る換算差額	14,102	△ 5,290
現金及び現金同等物の増減額	267,164	△ 31,100
現金及び現金同等物の期首残高	2,628,353	2,806,218
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,895,517	2,775,117

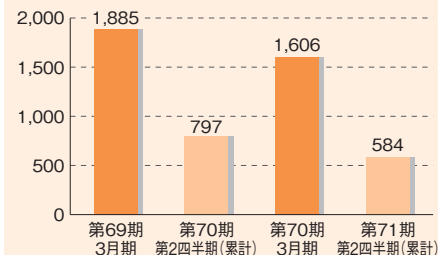
財産及び損益の推移

業績の推移

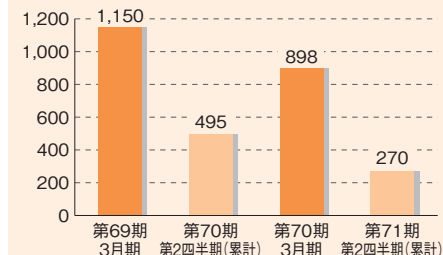
●売上高 (百万円)



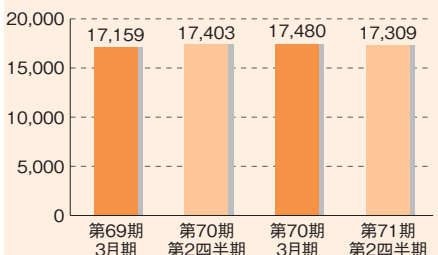
●経常利益 (百万円)



●純利益 (百万円)



●総資産 (百万円)



事業分野別売上高

(百万円未満切捨表示)

区分	事業分野	前第2四半期累計期間	当第2四半期累計期間	増減	平成20年3月期
製品	金属表面処理剤及び機器等	2,642	2,604	△ 38	5,481
	電子材料	218	201	△ 16	464
	電子関連分野計	2,861	2,806	△ 55	5,945
	自動車用品分野	595	547	△ 47	1,135
	工業薬品分野	72	83	10	150
	製品合計	3,529	3,437	△ 92	7,230
商品	金属表面処理剤及び機器等	344	447	102	704
	電子材料	1,700	1,379	△ 321	3,151
	電子関連分野計	2,044	1,826	△ 218	3,855
	自動車用品分野	212	270	57	423
	工業薬品分野	2,353	2,389	36	4,473
	商品合計	4,611	4,486	△ 124	8,752
総合計		8,140	7,924	△ 216	15,983

会社の概況 (平成20年9月30日現在)

■会社概要

商号	石原薬品株式会社 ISHIHARA CHEMICAL CO., LTD.	資本金	14億4千7百28万円
創業	明治33年4月15日	従業員数	189名
設立	昭和14年3月3日		

主要な事業内容

区分	主要品目
金属表面処理剤及び機器等	錫及びハンダめっき液、化成処理液自動管理装置等
電子材料	電子材料、セラミックス、エンジニアリングプラスチック等
自動車用化学製品等	つや出し剤、塗装補修コンパウンド、洗浄剤、消臭・除菌剤、溶接スパッター付着防止剤等
工業薬品	酸、アルカリ、触媒、無機化合物等

■事業所

本社	神戸市兵庫区西柳原町5番26号
東京支店	東京都台東区台東2丁目26番11号
滋賀工場	滋賀県高島市今津町北生見古野24番地の1

■役員

代表取締役社長	竹森莞爾	常勤監査役	福田英章
代表取締役専務取締役	時澤元一	監査役	井上浩三郎
常務取締役	松村伊佐雄	監査役	菱田正
常務取締役	浅野真司	監査役	岡本茂登
取締役	酒井保幸		
取締役	大竹祥司		
取締役	工藤富雄		

■株式の状況

① 発行可能株式総数	15,650,000株
② 発行済株式総数	7,460,440株
③ 株主数	1,791名
④ 単元株式数	100株

⑤ 大株主の状況 (上位10名)

株主名	持株数	出資比率
	千株	%
ステイムルパートナーズジャパンストラテジックファンドオブショアビルド	505	6.7
石原薬品取引先持株会	425	5.7
日本生命保険相互会社	379	5.0
株式会社三井住友銀行	366	4.9
石原薬品従業員持株会	240	3.2
株式会社みずほコーポレート銀行	223	2.9
第一生命保険相互会社	211	2.8
大阪中小企業投資育成株式会社	209	2.8
株式会社池田銀行	200	2.6
川村邦子	159	2.1